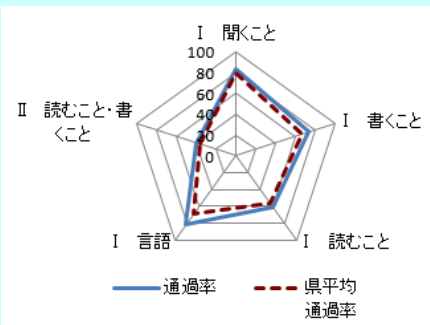


指導方法等の改善計画について〔国語科〕

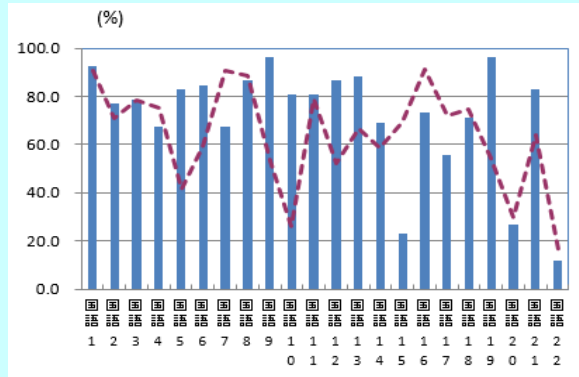
東広島市立下黒瀬小学校

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 71.8%, 県 63.7%)

領域別平均通過率



教科別の平均通過率



本年度の結果について

国語科の結果において、タイプⅠは76.7%、タイプⅡは40.4%の通過率である。特にローマ字や漢字などの言語事項については、8割以上の通過率であった。この結果から、基礎的・基本的な学習内容はおおむね定着していると考えられるが、教科で学習した知識・技能を実生活や学習の様々な場面に活用する力などは課題が残っている。また、最後の問題の無答率が19.2%と多いのは時間内に全部解くことができていない児童が多く、読むスピードが遅いことにも原因があると考えられる。タイプⅠの「読むこと」の中心となる語や文を捉えて、文章を正しく読み取る問題が23.1%と低い。「書くこと」の書こうとする目的に応じて、文と文の意味のつながりを考えながら書く問題は55.8%とやや低く二文にしたり、二文のそれぞれに主語を補ったりすることが難しい児童が多かった。タイプⅡでは、目的や必要に応じて情報を取り出し、それらと関係付けて書く問題が26.9%、複数の資料から必要な情報を取り出し、それらと関係付けて論理的に説明する問題が11.5%と低い。

重点課題

【課題1】 目的や必要に応じて情報を取り出す力、問題文の意図を読み取る力や読む速さに課題がある。

【課題2】 接続語「そのとき、そのうち」などの使い方を十分理解していないこと、接続語を使って適切に二文にすることや複数の資料から必要な情報を取り出し、分かりやすく文章に仕立てることに課題がある。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

【課題1】 説明文の指導においては意味段落毎の見出しを付けたり、要点まとめをしたりすることを通して情報を取り出す力をつける。タイプⅡの問題を定期的に取り組ませ、問題文の意図を読み取る力をつける。また、速読のこつを教え、音読練習をさせる。

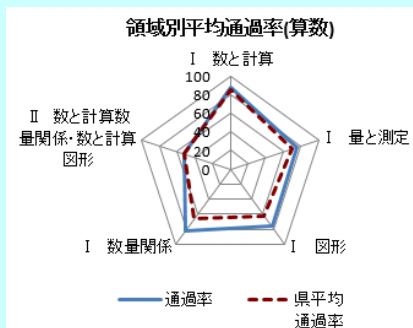
【課題2】 パワーアップタイム等を活用して接続語の役割を理解させたり、接続語を使った文章を書かせたりして復習する。意見文等を書く場合には、自分の立場や主張の根拠として、文章だけでなく図表やグラフなどの資料を意図的、計画的に活用させ、数値や事例などを引用できるように指導する。そして、文章と図表やグラフなどの関係やその効果を捉えさせた上で、図表やグラフなどを効果的に用いることを確実に指導する。また、社会科や理科等の他教科においても資料の読み取りだけでなく考察したことをまとめる取組をする。

| 【課題1】 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-------|---------------------|----------------------|-----|--------------------|---------------------|---------------------|---------------------|
| 学年・方法 | 5年生 H28基礎・基本答え解説 | 4・5年生 単元末テスト (読む) | | 5年生 単元末テスト (読む) | 5年生 H26全国学力 (読む) | 5年生 H27全国学力 (読む) | 5年生 H28全国学力 (読む) |
| 目標値 | | 80% | | 82% | 70% | 72% | 75% |
| 実施後数値 | | | | | | | |

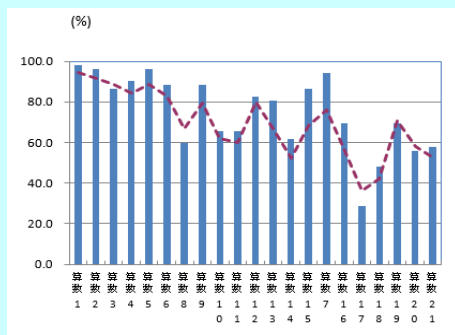
| 【課題2】 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-------|----|----------------------|--------------------------------------|-----|----------------------------------|---------------------------------------|----------------------------------|
| 学年・方法 | | 4・5年生 単元末テスト (書く) | 4年生 H25基礎・基本タイプⅠ 5年生 H28基礎・基本タイプⅡ | | 4年生 H26基礎・基本 5年生 H26全国学力 (書く) | 4・5年生 単元末テスト (書く) 5年生 H27全国学力 (書く) | 4年生 H27基礎・基本 5年生 H28全国学力 (書く) |
| 目標値 | | 80% | 4年生 60% 5年生 50% | | 4年生 70% 5年生 70% | 単元末テスト80% 5年生 72% | 4年生 75% 5年生 75% |
| 実施後数値 | | | | | | | |

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校74.7%, 県69.4%)

領域別平均通過率



数と計算の平均通過率



本年度の結果について

算数の結果において、全体は74.7%、タイプIは81.9%、タイプIIは51.9%の通過率となっている。この結果から基礎的・基本的な学習内容は定着していると考えられるが、学習で身に付けた知識・技能を活用したり、自分の考えにつなげたりする力に課題が残っている。領域別で見ると、タイプIは「数と計算」が87.9%、「数量関係」が81.7%とおおむね定着が見られる。一方、「量と測定」は75.5%、「図形」は76.3%と、タイプIの通過率を大きく下回っている。タイプIIは、特に目的に応じて計算の結果を見積もる力が28.8%と低い。また、折れ線グラフと棒グラフを関連づけて考える力が48.1%で、十分に定着ができていない。これらのことから、学習したことを実生活や学習の様々な場面で活用することに課題があるといえる。

重点課題

- 【課題1】 分数の意味と表し方 (59.6), 条件を満たす時間 (65.4), 複合図形の面正規 (65.4), ひし形の判断 (61.5) が十分に定着できていない。
- 【課題2】 目的に応じて計算を見積もる力 (28.8) が定着できていない。特に、グラフから読み取ったことを文章として表現する力が備わっていない。また、折れ線グラフと棒グラフを関連づけて考える力 (48.1) が弱い。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

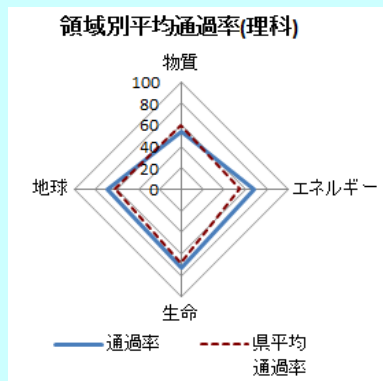
- 【課題1】 パワーアップタイムの時間を使って、4年生までの内容の復習を行っていく。同じ内容のものを、定期的に繰り返し行い、5年生終了時まで定着を図っていく。また、授業の中で既習事項として関連づけ、ポイントをおさえる。課題に関する学習のポイントを、学級の中に掲示し、いつでも振り返りができるようにしておく。
- 【課題2】 計算をするときに、おおよその答えを検討させて解かせる。グラフと関連づけて、計算をしたり、自分の考えを発表させたりする活動を行う。その際、グラフからどのようなことが分かり、そこからどのように答えを導き出したのか、筋道を立てて考えさせるように指導する。また、他の児童と考えの交流をして、自分の考えと違う所を見つけさせ、考えをより深める活動を行っていく。

| 【課題1】 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-------|---------------------|-----------------|---------------------------|---------------------------|----|---------------------------|--------|
| 学年・方法 | 5年生 H28基礎・基本答え解説 | 4・5年生 前期末テスト | 5年生H26全国学力 4年生H26基礎・基本 | 5年生H27全国学力 4年生H27基礎・基本 | | 5年生H28全国学力 4年生H28基礎・基本 | 後期末テスト |
| 目標値 | | 83% | 5年生 72% 4年生 70% | 5年生 75% 4年生 72% | | 5年生 80% 4年生 75% | 83% |
| 実施後数値 | | | | | | | |

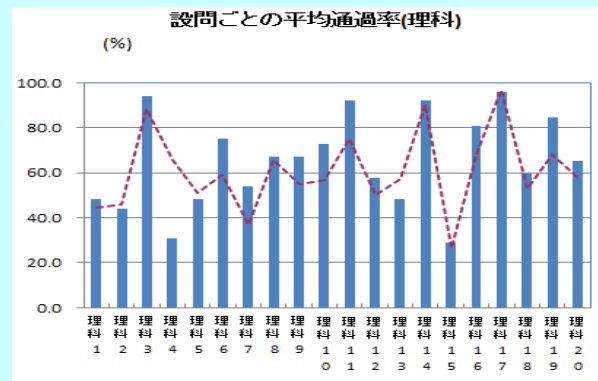
| 【課題2】 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-------|---------------------|-----|-----|---------------------------|---------------------------|---------------------------|----|
| 学年・方法 | 5年生 H28基礎・基本答え解説 | | | 5年生H26全国学力 4年生H26基礎・基本 | 5年生H27全国学力 4年生H27基礎・基本 | 5年生H28全国学力 4年生H28基礎・基本 | |
| 目標値 | | | | 5年生 70% 4年生 70% | 5年生 72% 4年生 72% | 5年生 75% 4年生 75% | |
| 実施後数値 | | | | | | | |

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 65.4%, 県60.6%)

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



本年度の結果について

理科の結果において、全体は65.4%、タイプⅠは73.2%、タイプⅡは50.8%の通過率となり基礎的・基本的学習は概ね定着している。

領域別では、「エネルギー」(67.3%, 県54.6%), 「生命」(72.6%, 県68.2%), 「地球」(69.2%, 県61.8%)の3領域は県平均を上回ったが、「物質」領域が下回り(53.1%, 県59.3%), 課題が残された。「物質」領域の設問毎の通過率を見てみると、器具の適切な扱い方については理解できているが、それらを使った実験結果とその分析、そこから分かることへの理解の定着が不十分である。

また、個人で観察や実験した学習内容については理解が来ているが、グループでの実験や「太陽と影の関係」といった空間認知能力を必要とする問題については通過率が低かった。

重点課題

【課題1】

物質領域の「温度による水の3態変化」(30.8%, 県65.9%), 「水の温度と体積の変化」(48.1%, 県51.3%), 「ものの重さと体積の関係」(44.2%, 県45.9%)が県平均を下回った。特に「水の3態変化」については課題が残った。

【課題2】

地球領域の「太陽の高さと影の関係」(28.8%, 県26.4%)及び生命領域「ボールをけるときの筋肉の働き」(48.1%, 県57.5%)の設問の正答率が低かった。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業)

【課題1】

適切な実験を通して、一人一人が体験的に理解させていくことが大切である。そのために、問題解決的に学習が出来るよう単元全体を通して授業を計画し、展開していく。また、学習のまとめの時には実験結果と自然の事象とを関連させて考えさせ、図などを使って視覚的に分かりやすくまとめさせていく。

【課題2】

模型等を使ったシミュレーションを行い、一人一人が体験を通して事象を理解する授業を行っていく。その際実際に観察したこととシミュレーションを関連づけて考えさせることを大切にしていく。

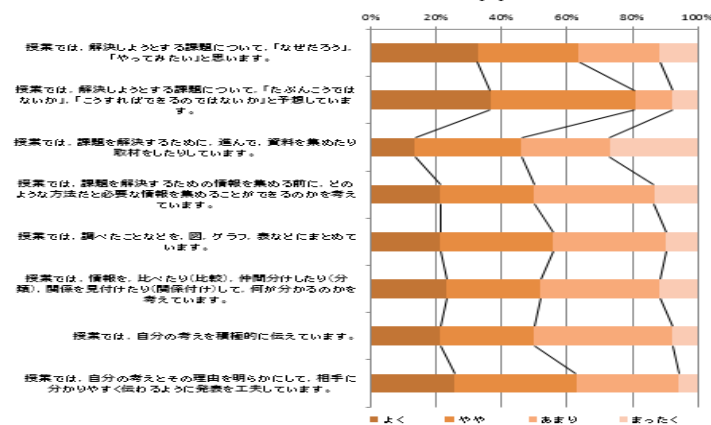
| 【課題1】 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-------|---------------------|-----------------|---------------------------|-----|---------------------------|-------------|--------|
| 学年・方法 | 5年生 H28基礎・基本答え解説 | 4・5年生 前期末テスト | 5年生H24全国学力 4年生H26基礎・基本 | | 5年生H27全国学力 4年生H27基礎・基本 | 4年生H28基礎・基本 | 後期末テスト |
| 目標値 | | 83% | 5年生 75% 4年生 70% | | 5年生 80% 4年生 75% | 75% | 83% |
| 実施後数値 | | | | | | | |

| 【課題2】 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-------|---------------------|-----|-----|---------------------------|-------------|---------------------------|--------|
| 学年・方法 | 5年生 H28基礎・基本答え解説 | | | 5年生H24全国学力 4年生H26基礎・基本 | 4年生H27基礎・基本 | 5年生H27全国学力 4年生H28基礎・基本 | 後期末テスト |
| 目標値 | | | | 5年生 70% 4年生 70% | 70% | 5年生 75% 4年生 73% | 83% |
| 実施後数値 | | | | | | | |

質問紙調査（「基礎・基本」定着状況調査：児童質問紙調査）

(1) 生活・学習

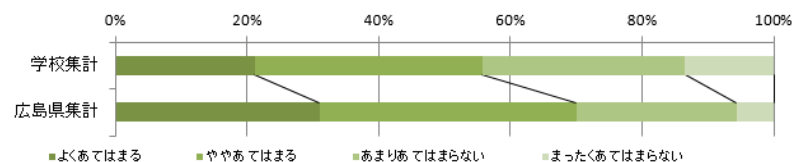
「課題発見・解決学習」(1)



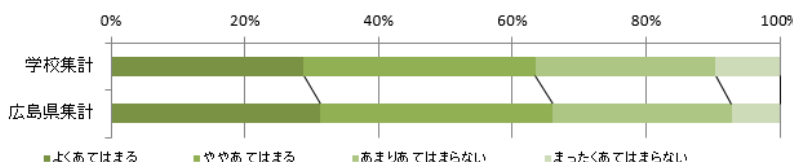
| 児童の回答についての課題 (現状値) | 今後の具体的な取組の内容 | 学年 | 目標値 | 検証方法 | 検証時期 | 実施数値 | 現状からの伸び |
|--|--|----|-----|-----------|------|------|---------|
| 授業では、課題を解決するために、進んで、資料を集めたり取材をしたりすることなど情報の収集に課題がある。(46.2%) | 課題を解決するために、どんな資料が必要か、どうやって集めたらよいか、どこにどんな取材をしたらよいかを考えさせる。 | 5 | 60% | 児童アンケート調査 | 3月 | | |

(2) 教科

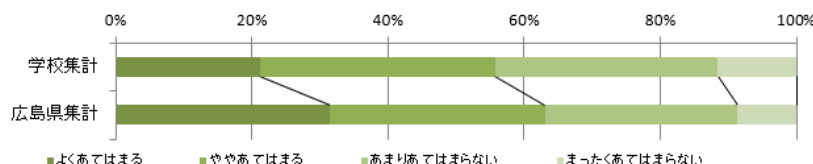
国語の授業では、目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしています。



算数の授業では、とき方や考え方を話し合うときに理由をあげて説明しています。



理科の授業では、自分の考えを周りの人に説明したり発表したりしています。



| | 児童の回答についての課題 (現状値) | 授業改善の方向性や具体的な取組 | 学年 | 目標値 | 検証方法 | 検証時期 | 実施数値 | 現状からの伸び |
|----|---|---|----|-----|-----------|------|------|---------|
| 国語 | 国語の授業では、目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりすることに課題がある。(55.8%) | 自分の考えを話したり書いたりできるように、考えを持ちやすい資料を用意する。自分の考えを話したり書いたりする場を多く設定し、話したり、書いたりすることに慣れさせるとともに、自信をもたせる。 | 5 | 65% | 児童アンケート調査 | 3月 | | |
| 算数 | 算数の授業では、とき方や考え方を話し合うときに理由をあげて説明することに課題がある。(63.4%) | とき方や考え方を話し合うときは、理由をあげて説明させるようにする。理由をあげて話すことや説明することに慣れさせるとともに、自信をもたせる。 | 5 | 70% | 児童アンケート調査 | 3月 | | |
| 理科 | 理科の授業では、自分の考えを周りの人に説明したり発表したりすることに課題がある。(55.8%) | ペアやグループ、全体など色々な形態で、自分の考えを周りの人に説明させたり発表させたりする場を設定する。 | 5 | 65% | 児童アンケート調査 | 3月 | | |